

私の看護

— 実践した看護を語り合おう —

2025.2.6-2.7



新卒者が「私の看護」を受講しました。研修の導入として、看護部長よりお話をいただきました。



ファシリテーターの支援のもと、研修者が司会や書記を担当し、グループワークを行いました。



「印象に残っている事例」について語り、実践した看護や患者の反応を共有しました。自分たちの価値観や感情、各部署の看護の特徴などについて、活発に質問や発言をしていました。



グループの中で1つの事例を選択し、さらに深く事例検討を行いました。



問題や課題を明確化し、行われた看護の意味やより良い関わりなど、得られた気づきや学びを模造紙にまとめました。



全体会では、各グループが選択した事例について、学びを発表しました。全人的に患者さんを捉え、多くの気づきや具体策が明らかになっていました。



研修者の学び



患者さんと話し合うことしかできなかったと感じていたが、傾聴や話し合うことも意味のある看護だと気づき、前向きに振り返ることができた

自分が看護する上で何を大切にしていたのか再認識できる機会になった